

東京お茶の水ロータリークラブ



奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために
2021-2022年度 RI 会長 シェカール・メータ

「My Purpose ♥」を起点とし
「Inspiring」へ

2021-2022年度 クラブ会長 西村 美智子



本日の卓話

ミャンマーで何が起きているのか 米山奨学生 チミンカンさん

プログラム

司会進行

開会点鐘

それでこそロータリー (ピアノ演奏のみ)

ゲスト・ビジター紹介

ニコニコ報告

会長報告

幹事報告

出席報告

委員会報告

閉会点鐘

佐々木啓策会員

西村美智子会長

角田 靖会員

佐々木啓策会員

西村美智子会長

海江田健司幹事

佐々木啓策会員

木宮 雅徳会員

神保 宏充会員

西村美智子会長

西村美智子会長

・木宮 雅徳会員に地区デジタル化推進委員会委員の委嘱状をお渡しいたします。

・松島 健会員より米山奨学会 特別寄付に10万円頂戴しました。ありがとうございます。

第2580地区ガバナーエレクト 嶋村 文男様

先ほど傳さんとお話したところ、お茶の水は若手が元気で活性化していますと話がありました。昨年度の木宮幹事、今年度海江田幹事頑張っていて、わが地区の中でも素晴らしいクラブです。土居さんが培った努力であり、また、今年度のガバナー補佐の牛島さんには地区を引っ張って頂きたいと思えます。地区のHPに私の基本方針と想いをUPしていますのでご覧下さい。



ゲスト・ビジター

第2580地区ガバナーエレクト

北分区ガバナー補佐

地区デジタル化推進委員長

嶋村 文男様

中川 雅雄様

田原 績様

北分区ガバナー補佐 中川 雅雄様

3年前に当社に移動例会でお越しいただき、卓話をさせて頂きました。10月5日(火)北分区IM(合同例会)を開催致します。前橋RCの本田様をお招きし、「もっと元気なクラブに」の講演です。参加者を限定しますが、YouTubeで配信致します。いつでも観て頂けますので参考にさせて頂ければと思います。1月27日、ワークショップ「職業奉仕の実践 その2」に私が講師で参加致します。コロナ禍では浅草も大変きつい商売と大変なクラブ運営ではありますが、アフターコロナではより一層クラブ奉仕活動に努めたいと思っております。西村会長、頑張ってください。



誕生日祝い

9月27日 傳 健興会員

ニコニコボックス

中川様・田原様 西村さん、会長就任おめでとうございます。お体には気をつけて頑張ってください。

西村会長 嶋村様、中川様、田原様、本日はようこそお越し下さいました。

土居会員 嶋村GE、中川ガバナー補佐、田原デジタル化推進委員長、よくおいで頂きました。御指導宜しくお願い致します。

大原会員 木村さん卓話楽しみにしています。

高山会員 木村さんの卓話を楽しみにしています。

山下会員 嶋村様、中川様、田原様、ようこそお茶の水へ

計 21,000円 累計 189,146円

地区デジタル化推進委員長 田原 績様

西村会長には地区職業奉仕でお世話になりました。もご指導頂いております。木宮さんは今期、国際奉仕副委員長ですが、デジタル化推進会のお手伝いをお願いしたところ、快くお引き受け頂きました。地区のセミナーの配信をして頂いております。そして、来年は牛島さんにデジタル化推進のバトンを渡すように嶋村さんから仰せつかっております。今日は御礼とお願いに参りました。どうぞよろしくお願い致します。



出席報告

会員数	38名	ゲスト	0名
出席数	17名	ビジター	3名
ZOOM	2名		
欠席数	19名	合計	22名

今後の例会

10月13日 休会
※10/14 中央分区ゴルフ予選会
10月20日 於：東京ドームホテル
クラブ協議会～11月10日ガバナー
公式訪問にあたり～

西村美智子会長

ありがとうございました。嶋村ガバナーエレクト、中川ガバナー補、田原委員長はクラブを超えて地区で活躍されている方々です。私も大変お世話になりました。中川様は、私が地区職業奉仕委員の時の委員長で、職業奉仕にける熱意がおありです。引続きご指導頂ければと思います。

海江田健司幹事

- ・次週 10月6日の例会は東京ドームホテルで開催致します。11:30からは理事役員会を開催いたしますので、関係者の方はご出席の程宜しくお願いいたします。
 - ・月1回断食基金へのご協力ありがとうございました。
- <地区関係行事>

9/17のメールと本日の週報でもご案内しておりますが、10月25日にポリオ根絶活動に関するワークショップが開催されます。ZOOMでの参加になります。参加の方は事務局までお申し込み下さい。

ロータリーの友9月号の紹介 神保 宏充会員

筑波大学名誉教授 門脇厚司さんの講演、「社会力育てが人類社会を救う」を紹介します。門脇さんは今の若者の社会力が衰退していると書かれています。社会力とはどういうものかという、「社会をつくり、その社会を運営しつつ、絶えず作り変えていくために必要な資質や能力」と仰っています。社会力のおおもととなるのは、他者に関心を向けるという愛着信や、どんなことも一緒にやっていきたいという信頼感です。ロータリー活動では皆様と一緒に活動させていただき、愛着信や信頼感を学ばせて頂いておりますが、若い世代にも伝えていかなければと思った次第です。この記事は大変参考になりますので、皆様もご一読下さい。

アカ族の報告 木宮 雅徳会員

奥山会員の代理で報告致します。私も3年前の国際奉仕委員長の時に参加させて頂きました、タイ・チェンライアカ族の子供たちへの支援の報告です。主に活動されている方は原田さんで、タイのチェンライRCのバスター会長です。ボランティアで日本語教師をされています。ダムロン高校で、毎年「JAPAN DAY」を開催し、習字をしたり、日本料理を子供たちと一緒に作ったりしていました。コロナ禍のため、去年も今年も日本のロータリアンは参加できませんでしたが、原田さんがお一人で実施されました。報告書にはオンライン授業支援、京都紫竹RCより井戸濠と浄水施設支援と京都東RCよりコロナ対策マスク2千枚寄付の報告があります。

地区国際奉仕副委員長 木宮 雅徳会員

皆さんが買われたポリオのTシャツは、本日出席されている田原様の田原屋さんに作って頂きました。短納期で高品質でした。ありがとうございました。

浄土宗大本山清浄華院の御忌大会についての追補版

木村 良成会員

今回は、浄土宗大本山清浄華院の「御忌」についての卓話を行いました。30分という大変短い時間であったため、多くのことをお話できませんでした。従ってお伝えしなければならぬ内容をここに記述致します。



1 仏教の伝来

西暦530年代～550年代（伝来年は不詳）に日本に伝えられ、594年に聖徳太子により三法（仏・法・僧）に皈依しなさいということで607年に法隆寺が建立されました。そして、もともとがサンスクリット語であった経典から漢音（呉音；ごいん）に訳された経典も同時に入ってきて、広く仏教活動が始まったのです。

日本仏教の主な体系としては、下記のようになります。

（ ）は開祖

○【奈良仏教系<南都六宗>】法相宗・俱舍宗・三論宗・成実宗・華嚴宗・律宗

○【密教系】真言宗（空海）・天台宗（最澄）

○【浄土系】浄土宗（法然）・浄土真宗（親鸞）・融通念仏宗（良忍）・時宗（智真）

○【禅宗系】臨済宗（栄西）・曹洞宗（道元）・黄檗宗（隠元）

○【法華系】日蓮宗（日蓮）

2 漢字の読み方

日本では現在、漢字仮名まじり文化であります。漢字の読みに関しては正式に小学校で「音読み」と「訓読み」があると習います。しかし、音読みに関してはもう少し踏み込んだ知識が必要であると卓話の中ではお話をいたしました。

○ 音読み（Chinese reading）

大陸から日本に伝来してきた時代の中国国名が付いています。つまり、日本に仏教文化をはじめ、様々な文化が伝わった時の中国の国名が呉だったので「呉音（ごいん）」となります。同じく、日本に伝来した漢字の読み方が中国の漢の時代だったから「漢音（かんおん）」、唐の時代だったから「唐音（とうおん）」となるわけです。「呉音」自体も一般には『ごおん』と読みがちですが、呉音読みでの「音」は『いん』と読みますので、とても紛らわしいのです。

① 呉音（ごいん）読み

朝鮮の百濟より7世紀頃までに伝わってきた読み方です。多くの仏教用語がこれにあたります。また、現在の日本語の中においても仏教用語は日常生活の中に多く使用されており、この読み方の多くも呉音が使用されています。

現在、「黙食」は『もくしょく』という言われ方をし多く報道等されています。しかし、『もくじき』という言い方が本来の発音なのです。（ロータリークラブの例会においても、「お食事は黙食『もくじき』でお願いします。」ときちんと使い分けているクラブも存在しております。）

国語というものは、正に諸行無常で時代とともに読み方や意味が変化していくものであり、「黙食」をはじめ、他の読み方も呉音読みから変化していつているのが現

御忌大会



唱導師によるお十念



法要当日、YouTubeのURL
<https://www.youtube.com/watch?v=cVxv7Ngq2us>

状です。例えば多くの寺院では食すために使用されるお堂のことを「食堂」『じきどう』と言いますが、『しょくどう』という言い方が一般的です。意味も変化してしまったのが現実です。

② 漢音 (かんおん) 読み

平安時代にかけて、遣唐使や留学僧によって日本に伝えられたものです。

この頃、日本に伝えられた文化の一つに「お茶」があります。これは、日本からの留学僧や中国からの渡来僧によって伝わったものでした。(この文化が伝わってこなかったら「東京お茶の水ロータリークラブ」はどの様な名称になっていたのか気になるところです。)

③ 唐音 (とうおん) 読み

平安時代中期以降から江戸時代に貿易や禅僧を通じて伝わってきました。この時代の留学僧としては、最澄上人・空海上人・栄西上人・道元禅師が有名です。

○ 訓読み (Japanese reading)

「訓」という文字には、「意味をわかりやすくする」という意味があるため、もともと中国語である漢字に日本語の意味をあてはめて読みが出来ていったものです。つまり、音を聞いただけで意味が通じるようになっていくわけです。

3 浄土宗について

○ 宗祖 法然上人

- ・ 1133 (長承2)年 岡山県(美作国)に生まれ、幼名を勢至丸といました。9歳の時に父親を夜襲で亡くしたのですが、その時父は死ぬ間際に「敵を恨むことなかれ(敵の仇討ちをしてはならない)」という遺言を残しました。その遺言をもとに1147 (久安3)年、14歳にて比叡山に登って出家・得度したのです。
- ・ 1175 (承安5)年 43歳の時に「浄土宗」開宗
- ・ 1212 (建暦2)年 80歳で入滅

○ 浄土宗における「御忌」の由来

- ・ 宗祖法然上人の命日は1月25日です。この日、年忌として法然上人を偲(しの)んで営む法要のことです。
- ・ 「御忌」とはもともと、天皇や皇后の年忌・忌日法要に対する敬称でありましたが、1523 (大永3)年に、「法然上人の年忌を『御忌』とし、毎年1月に7日間の法要を勤めるように」との詔勅が後柏原天皇から総本山知恩院に下されて以降、法然上人の忌日法要にこの言葉が用いられるようになりました。
- ・ 時は明治期に入り、知恩院が日程を季候が良い4月(新暦)に変更してからこの時期に勤める寺院が多くなり、本山級の寺院においても御忌大会の法要も4月に執り行われるようになりました。

4 おわりにあたって

今回は4月21日(水)に執り行われた清浄華院の御忌大会に関してのお話しでした。この緋色の衣を着ることができる唱讃導師に推薦されたのが2019(令和元年)8月下旬。推薦されたといってもなかなかできるお役でもありません。最初このお話しを頂戴したときは「何で私が?もっと先輩達がいるはずなのに?」と思いました。その愚僧が2週間後に台風15号の災害復興支援活動中に6m落下し、3日以内の命と宣告されました。本来は西方の彼岸から4月21日の清浄華院の御忌を眺めていたのですが、西方には旅立ちしませんでしたので、今こうやって東京お茶の水ロータリークラブの皆さんと再び活動ができるようになったことに感謝しております。